

第48回 千葉県少年野球大会【千葉日報旗大会】

平成30年 8月4日(土)・11日(祝)・12日(日)・14日(火)・18日(土) ㊦19日(日)



《使用球場》

- ・袖ヶ浦市営球場
- ・袖ヶ浦今井球場
- ・百目木公園野球場
- ・百目木公園ソフトボール場
- ・木更津市営野球場 (都合により使用不可)
- ・江川野球場
- ・小糸スポーツ広場野球場
- ・浦安高洲少年野球場
- ・青葉の森野球場
- ・船橋高瀬野球場
- ・塚崎運動公園野球場
- ・緊急使用 長浦公民館野球場

《参加チーム》

- ★大森フライヤーズ (千葉)
- ★幕張昆陽クラブ (千葉)
- ★打瀬ベイバスターズ (千葉)
- ★泉谷メッツ (千葉)
- ★愛生グレート (千葉)
- ★小中台JBC (千葉)
- ★習志野台ワンパクス (船橋)
- ★海神スパローズ (船橋)
- ★夏見台アタックス (船橋)
- ★習志野台赤トンボ (船橋)
- ★藤崎シークレット (習志野)
- ★ならしのフレンズ (習志野)
- ★鷺沼マリニーズ (習志野)
- ★エースライオンズ (八千代)
- ★高津ボーイズ (八千代)
- ★ちはら台ファイターズ (市原)

- ★千葉市原マリニーズ (市原)
- ★市川アスナロズ (市川)
- ★新田エンゼルス (市川)
- ★みかどファイターズ (市川)
- ★八幡チャレンジャーズ (市川)
- ★畑沢コンドルズ (かずさ)
- ★子安クラブスポーツ少年団 (かずさ)
- ★青堀少年野球クラブ (かずさ)
- ★鴨川リトルベアーズ (市原)
- ★一宮少年野球クラブ (九十九)
- ★東金東クラブ (九十九)
- ★セントラルパークス (東葛)
- ★野田ドンキーズ (東葛)
- ★野田ジャガーズ (東葛)
- ★流山ホークス (東葛)
- ★緒ヶ崎ジュニアフィンズ (東葛)

- ★豊上ジュニアーズ (柏)
- ★光ヶ丘シャークス (柏)
- ★松葉ニューセラミックス (柏)
- ★ブラックバード (葛南)
- ★リトルイーグルス (葛南)
- ★中部ユニオンズ (葛南)
- ★新浦安ドリームスター (葛南)
- ★飯岡スポーツ少年団 (東総)
- ★海上マリニックズ (東総)
- ★並木ペイシェンス (北総)
- ★成田マリーシアズ (北総)
- ★エンジョイズ (北総)
- ★成少フォックス (北総)
- ★木刈ファイターズ (印旛)
- ★四街道ブルースターズ (印旛)
- ★白井ライナーズ (印旛)

《試合結果》

トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。



優勝 夏見台アタックス

(船橋地域)



準優勝 大森フライヤーズ

(千葉地域)



第三位 四街道ブルースターズ

(印旛地域)



第三位 飯岡スポーツ少年団

(東総地域)



★ 夏見台アタックス 主将 横山 匠太 (ヨコヤマ ショウタ)

一戦必勝で試合に臨みました。どの試合も厳しい試合でしたが、点を取られては取り返す自分達らしい野球が出来ました。僕が2年生の時の6年生がこの大会で優勝し、その時のテレビを何度も何度も見ていました。自分達も優勝出来た事が夢みたいです。本当に嬉しいです。

船橋から遠くまで応援に来てくれたチームのみんなの応援のおかげでパワーをもらい試合に勝つことができました。支えてくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも大好きな野球を頑張りたいです。



★ 夏見台アタックス 推薦選手 椎木 卿五 (シキ ケイゴ)

ぼくは、この大会を通して、色々な経験や課題が見つかりました。ぼくが今までで経験した事のない、緊張やプレッシャーがありました。その中で一番緊張したのは、決勝戦の最終回の場面でピッチャーのマウンドに立った時です。ツーアウトをとった後にランナーを出してしまい、でも、自分のピッチングを信じて投げられたので、抑える事ができました。

この大会の課題は、決勝でのバッティングで、チャンスの場面で打つことができず、すごい悔しかったです。その経験を生かして、いっぱい練習をして、チャンスで打てるように、また頑張りたいです。



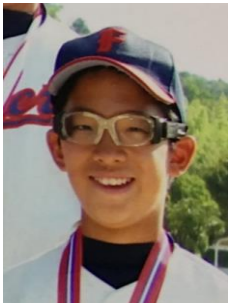
★ 夏見台アタックス 監督 中井 勝行 (ナカイ カツユキ)

少年野球に携わり、指導する立場をさせて頂き15年。今年は記憶にないほどの暑い中での今大会となりました。子供達の体調管理、個々の調子を見極めに注力しながら、試合内で起こるミスは個人のミスではなく、全てはチームとしてのミスと捉え、例え10個のミスが出たとしても、試合終了までに11個の好プレーを目指す事をテーマにしっかりと戦えた大会でした。日替わりでヒーローが生まれる子供達の頑張りに感謝しかない大会となりました。



★ 大森フライヤーズ 主将 奥山 大馳 (オクヤマ ダイチ)

僕たち大森フライヤーズは、千葉日報旗大会で「優勝」という目標を立て一生懸命練習してきました。そして初戦からバッティング力を生かし、自分や仲間のエラーがあっても全員でピンチを切り抜け決勝まで勝ち進みました。僕は決勝戦で1安打しか打てず残りの打席が1塁2塁のチャンスだったにもかかわらず、打てなかった事が悔しかったです。なので、今後の試合ではチャンスをものにし、キャプテンとしてみんなを引っ張りながら「全員野球」で勝てるように頑張りたいと思います。



★ 大森フライヤーズ 推薦選手 長妻 尚栄 (ナガツマ ショウエイ)

僕は、千葉日報旗大会を通じて、自分のピッチングに自信ができました。3試合15イニング投げ、1失点とチームに貢献できたからです。

仲間の守備にも助けられました。又、監督やコーチのていねいな教えや応援してくれた親達にも感謝しています。

決勝では、ピッチャーとしては出れず悔しかったです。今後、決勝戦でも投げられるようなピッチャーになりたいです。もっと練習して投打ともに活躍したいと思いました。今後もこの大森フライヤーズの仲間と一緒に野球をしていきたいです。



★ 大森フライヤーズ 監督 高橋 直之 (タカハシ ナオユキ)

1つ前の大会で大きな記録を残したこのチームは、やり遂げた達成感からか本大会が始まってどこか上の空。初戦で逆転負けを喫するところでした。再逆転でサヨナラ勝ちを収めたあたりからやっとスイッチが入りいつものモードへ。全員がやる気になってからは集中力も増し、幾度のピンチをしのぎ、攻撃面ではツーアウトから加点ができ良い形へ繋がりました。

短期間でここまでやれるようになった子供たちの「やる気」は素晴らしいもので、凄い力を発揮します。まだまだ成長するでしょう！楽しみです。

準優勝、悔しさもありますが立派です。